

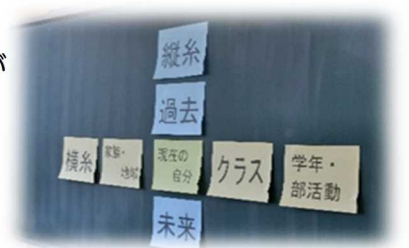


いのちの日便り

2022.3.11
いのち推進
プロジェクト
NO. 12

『いのちの日』を振り返る

3月3日（木）、今年度最後の『いのちの日』に1年間の様々な活動を振り返りました。来年度も、生徒のみなさん一人一人の『いのち』が輝くように、『一中いのちの日』を推進してまいります。



～ 生徒のみなさんの感想より ～



「いのちの日」の活動では、たくさん心に残ったことがありました。悲しいお話を聞いたことも楽しい活動もありました。体育祭の後に行ったハートフルメッセージでは自分に向けてのたくさんのいい言葉をたくさんの人からもらってうれしかったです。自分のために考えたことがたくさんあって、「いのちの日」はすごく勉強になりました。これからも、いつも「縦系」「横系」を感じて生きていきたいです。
(1年3組)

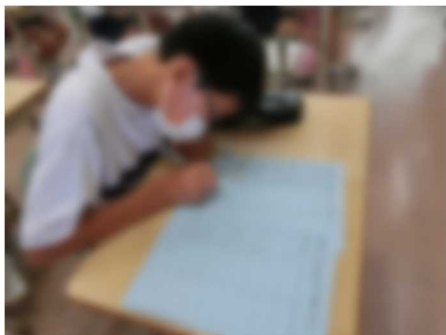
一中「いのちの日」を通して、私は他の誰かのために一生懸命働いたり、ボランティアをしている人がいることを学びました。読み語りではいろいろな本を読んでいただいて改めて命の大切さや思いやりの心を知ることができ、実際に奉仕活動で誰かの力になれる楽しみや大変さを感じました。「いのちの日」で学んだことは自分にとって、未来につながるなと思いました。先生方にお聞きした話や活動を通し学んだことをこれからの生活に生かして、二年生になっても思いやりの心を持って成長していきたいなと思いました。
(1年3組)

私が一番心に残っているのは、瀧川先生が読み聞かせしてくださった「かぜのでんわ」です。この本の読み聞かせを聞いたとき、すごく悲しくなって自分のことでないのに自分のことのように感じたことをよく覚えています。愛する人や大切な人が亡くなってしまうことは、私が想像していることより、辛いと思います。私は、まだ周りの大切な人が亡くなった経験がありません。しかし、これから絶対経験することだと思います。後悔がないよう生きたいと思います。
(1年4組)



僕が一年間のいのちの日で一番印象に残っているものは「ちび竜」です。このちび竜という話は、本の中ではなく、現実にも繋がるものだったため印象に残っています。最初は小さい小さいボウフラだったちび竜が様々な経験を経て、最終的には地球の何倍もの大きさにもなったという話で、僕も最初は全く一中生活について分からなかったり、テスト勉強の仕方が分からなかったりと、分からないことだらけだったものが一日一日の積み重ねで一中生活にも慣れ、テストの点数も少しずつ伸びているため、二年後の受験や高校生活に向けて、これからも毎日少しずつ成長して頑張りたいです。

(1年4組)



「いのちの日」という形で人生について学んだ。僕の生活の仕方やこれからの人との関わりについて考える大切な機会だった。読み語りやエンカウンター、校長先生のお話などを思い出すと「一年はあっという間だったな」という気持ちを持つ。僕が「いのちの日」で一番覚えていることは奉仕活動である。普段掃除しないような場所を頑張って掃除したのを覚えている。今、僕は教室掃除をしている。奉仕活動のように普段掃除しなそうな場所を積極的にきれいにしていきたい。

(1年5組)

一年間振り返って改めて「いのち」の大切さを思いました。現在の自分だけで物事を考えるのではなく、この先の未来や過去を振り返り、過去で失敗したことは、未来にどう生かすかなどの前向きな気持ちも大切だと思いました。横系のクラスや家族などは、人の気持ちや考えを尊重することや誰かと協力して一つの目標に向かい頑張ることが大切だと思いました。これからも縦系・横系をもっと大切にしていきたいです。

(1年5組)

私は「いのちの日」の活動を通して、様々な人との関わり大切さを学びました。エンカウンターでは、言葉を使わずにお互いの考えを伝えることの難しさ、ハートフルメッセージでは感謝を言うこと、言われることの嬉しさや大切さ、奉仕活動では地域の方の優しさなど様々なことを改めて実感しました。私が今、幸せに暮らしていけるのはたくさんの人の優しさや思いやりのおかげだと思います。私は「いのちの日」で学んだことを忘れずに生活していきたいです。そして自分のことだけではなく、周りにも目を向け、優しさを少しでも分けられるような人になりたいです。また、今当たり前前にいる家族や地域の方、友達などは必ず未来でも関わりがあるとは限らないから、今の当たり前前を大切に感謝していきたいと思えます。

(2年3組)

「いのちの日」に取り組んだことを振り返って、一人ひとりの命の大切さを改めて感じる事ができた。家族や先生、友達などの支えがあって今の自分ができているから、自分や自分を支えてくれたみんなの命を大事にして日々生活していきたいと思った。校長先生のお話からは大谷翔平選手や紺野陽吉さんなどの人々の生き方を知ることができた。同じ人でも考え方や感じ方の多様性があったとても勉強になった。僕も自分に合った生き方を見つけて、それに向かって努力していきたいと思った。

(2年3組)



一年間読み語りや話を聞いて、命とは何だろうということのを改めて考えることができました。特に校長先生の始業式でのスーパーボランティアの話を聞いて人のために何かするという事はとても素晴らしいことなのだと思いました。人のために何かをすれば自分にも何か良いことが返ってくるので人のためにするという事は大事な事だと思いました。ぼくもこれから、自分のできる限り人のために何かをしようと思いました。(2年4組)



一中「いのちの日」を通して、命の大切さや自分の生き方などの生きていくうえで大切なことがたくさん学べた。今年度頑張っていきたいことに書いた目標は完璧ではないが関わりを大切にできたと思う。来年度はもっと友達、先生、身近な人との関わりを大切にしていきたいです。(2年4組)

今年度「いのちの日」に取り組んで思ったことは「生きているって素晴らしい」ということでした。今私たちは確かに生きていますが、生きるということを当たり前のように感じています。しかし、「いのちの日」に取り組むことで少し考えが変わってきました。人々の中には戦争やいじめなどによって亡くなっている方もいます。身近にも「死」を感じています。そのため、「生きる」ことを当たり前だと思わずに、いつ人生の終わりがきてもいいように「今」を一生懸命に生きることが大切だと思いました。世の中では「コロナウイルス」が人々を苦しめています。このような世の中だからこそ人と人が支えあって命の尊さを感じなければいけないと思いました。(2年5組)



一年を通して、人を大事にする心をもつことを学べた。人は誰かに助けられたり、支えられたりして生きているので、人との関わりを大事にするべきだと考えた。また、その人が持つ個性を尊重しなければならぬと思った。そして、自分も同じくらい大切にすること、自分のことを大事にしないのは人を大事にしないことと同じだと思った。(2年5組)

いのちの日で功績を残した人や素晴らしいと言われる人物について知る機会が何度かあったが、そういった人たちはみんな謙虚で人格も相まって評価を受けていることが分かった。自分もこれから大人に近づくにつれたくさん悩むと思うけれど、どんな時でも自分の理想に近付こうと努力し、堂々と自信を持って生活できるようにしたい。困っている人に迷わず手を差し伸べられるような気遣いのできる大人になりたい。(3年3組)

今年は戦争で失われる命の重さや周りのために行動することの大切さについて学んだ。聞いてきた数々の講話の中で様々な偉業を達成してきた人々は自らが出した結果ではなく、周りに対する気遣いなどに関してもプロであるということが分かった。命の学習では、一人一人の命は尊く、大切なものであり、それを一瞬にして大量の命を奪う戦争はもう二度とあってはならないものだと思った。
(3年3組)

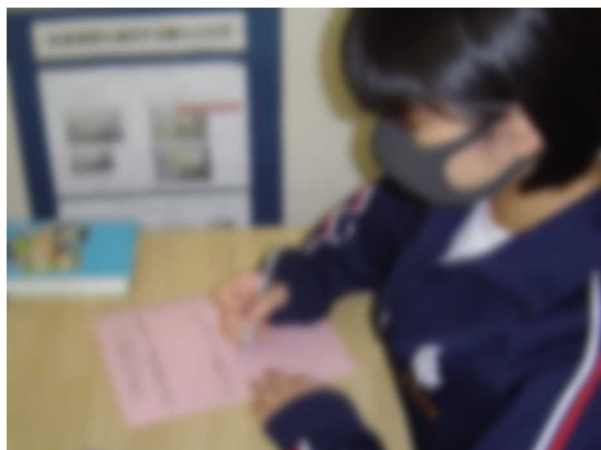
今年も新型コロナウイルスの影響を受けて様々な事が制限されましたが、いのちの日を通して仲間の大切さを学ぶことができたと思います。三年間のいのちの日を通して命の尊さや重さを深く考える活動ができて良かったです。
(3年4組)

中学校三年間の一中「いのちの日」を通して、「いのち」というのは縦系と横系が重なっていることを改めて実感しました。特に心に残った活動は二つあります。一つ目はハートフルメッセージです。一緒に体育祭を乗り越えた仲間に「ありがとう」を伝え、「ありがとう」と伝えられるのはとてもうれしかったです。二つ目は井上先生の読み語りです。自分の命を輝かせるために自分をよく知っている人を見つけたいと思いました。一中「いのちの日」で学んだことをこれからの人生に活かしていきたいです。

(3年4組)



読み語りやハートフルメッセージや校長先生の話や横系の話や縦系の話を聴いて、糸のことを意識して生活できたので良かった。特に心に残っているのは、大谷翔平さんの目標を立てて行動するという話でつながりをつけて目標を立て、「積小為大」を意識して頑張るということから私も受験を頑張ろうと思い、生活できた。高校に行っても縦系と横系を忘れずに生活していきたいと思った。
(3年5組)



この一年間で様々な話を聞いたり、様々な活動をしたたりして、改めて学ぶことや新しく学ぶことがたくさんあり、これからの人生で意識しようと思えた。四月に書いた今年度頑張っていきたいことを読み返してみて、受験生でいることの意識や三年生ということを感じて生活する心を「いのちの日」を含む日々の活動で養うことができたと思う。ハートフルメッセージや奉仕活動でクラスの仲間も深めることができ、いい思い出になったと思う。今後「いのちの日」に取り組むことはなくなるが、自主的に人生において大切なことを見つけたり、本などから情報を得たりする習慣をつけておきたい。

(3年5組)